

タイ・ユニオン・グループ(TUn)

飲食店の再開により冷凍シーフード事業が回復。ペットフード部門の上場計画を発表、成長事業への投資加速。

タイ | 加工食品 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU.BK

- 2021/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比15.1%増、粗利益率同0.2ポイント上昇、純利益が同32.5%増の増収増益となった。
- 飲食店の再開に伴う外食需要の高まりを背景に、冷凍シーフード関連製品部門における売上高、販売量が回復した。
- 好調が続くペットフード部門を上場させる計画を発表。コロナ禍でペット需要が高まる中、成長事業として投資加速が注目される。

What is the news?

2/23発表の2021/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比15.1%増の385.01億THB、粗利益率が同0.2ポイント上昇の18.2%、純利益が同32.5%増の19.30億THB。魚介類・水産加工品部門の販売価格の上昇、飲食店の再開に伴う冷凍シーフード関連製品部門の回復等が貢献した。

製品部門別の4Qの売上高は以下の通り。①マグロ、イワシ、サバ関連製品やパウチサーモンなどを含む「魚介類・水産加工品部門」は、売上高が前年同期比4.9%増の151.49億THB、粗利率は同2.6ポイント上昇し22.7%となった。米国において、在庫の積み増しに伴う需給緩和により、製品販売量は同5.4%減だった一方、ヨーロッパとアジアにおける販売価格の上昇により売上高、粗利益率が上昇した。②エビ関連製品やスモークサーモン、イカ・タコ、カニ、貝類などの冷凍製品を含む「冷凍シーフード関連製品部門」は、売上高が同21.0%増の166.28億THB、粗利率は同0.3%上昇し11.7%。飲食店の再開に伴い、外食産業からの需要が回復し、製品販売量が同4.9%増となった。③「ペットフード&高付加価値製品部門」は、売上高が同27.2%増の67.24億THB、粗利率は同5.0ポイント低下の24.4%となった。製品販売量は同0.7%減だったものの、新商品等の高付加価値商品の販売が好調だったため、売上高が大きく伸びた。一方、原材料価格と輸送費用の上昇により粗利益率が低下した。

How do we view this?

2022/12通期の会社計画は、売上高が前期比4-5%増、粗利益率が18.0-18.5%(前期は18.2%)、売上高販管費率が12.0-13.0%(同12.4%)、設備投資支出額は60億THB(同37億THB)とした。同社はペットフード部門をタイ証券取引所に上場させる計画を発表。調達資金はペット関連の商品開発や生産増強にあてるとみられており、成長が期待されるペットフード市場において、同部門の業績拡大が期待される。

更に、同社は代替シーフードへの取り組みにも注力。植物由来の原料を使った代替ツナや代替エビのOEM(相手先ブランドによる生産)を欧米企業から受託したほか、自社ブランドの展開も開始。2021年9月には食品向け香料や着色料、コーティング剤等に強みを持つタイ食品添加物会社R&Bフードサプライの株式10%を約100億円で取得。代替シーフード事業は、品質強化により新たな事業の柱としての成長が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1THB=3.66円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高(百万THB)	126,275	132,402	141,047	147,297	153,592
当期利益(百万THB)	3,815	6,246	8,013	7,704	8,296
EPS(THB)	0.80	1.33	1.72	1.59	1.72
PER(倍)	23.00	13.83	10.70	11.57	10.70
BPS(THB)	10.15	10.94	12.43	12.99	13.87
PBR(倍)	1.81	1.68	1.48	1.42	1.33
配当(THB)	0.47	0.72	0.95	0.90	0.95
配当利回り(%)	2.55	3.91	5.16	4.86	5.18

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.90	(予想はBloomberg)
終値(THB)	18.40	2022/4/4

会社概要

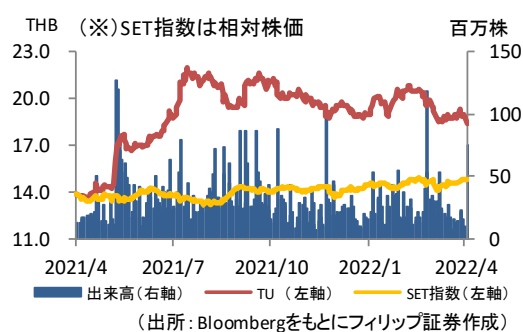
1977年にマグロ缶詰の製造、輸出を目的に設立。タイ国内で冷凍食品・チルド食品およびシーフード缶詰の製造・販売を行っているほか、子会社を通じパッケージングや印刷、ペットフードなどの事業も手掛けている。

海外においては、米国子会社がロブスターをはじめシーフード製品の製造・販売を行うほか、レストランチェーンや小売業者、卸売業者向けにエビをはじめとする冷凍シーフード製品の輸入販売を行っている。欧州子会社は欧州、米国、オーストラリアで密封包装食品やチルドシーフードの製造・販売を行っており、アジアの子会社はベトナムおよび中国でシーフード製品の製造・販売を手掛けている。2015年には世界最大のシーフードレストランチェーンの米レッド・ロブスターへ出資を行った。

同社のブランドは、北米で「Chicken of the Sea」や「Genova」、欧州で「John West」、「Petit Navire」、「Parmentier」、「King Oscar」、「Mareblu」、「Rügen Fisch」を展開するほか、アジア太平洋地域では「SEALECT」、「FisHo」、「King Oscar」、「Qfresh」、「Monori」、「Bellotta and Marvo」などを展開する。

企業データ(2022/4/5)

ベータ値	0.44
時価総額(百万THB)	85,654
企業価値=EV(百万THB)	149,761
3か月平均売買代金(百万THB)	549.3



主要株主(2022/4)

1. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	17.10
2. Chansiri Thiraphong	13.24
3. 三菱商事	7.47

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

山口 亮太
ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
笹木 和弘
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。